

令和8年度 第1回春日区地域協議会 次第

日時：令和8年4月8日(水)

午後6時30分～

会場：上越市市民プラザ 第一会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) 自主的な審議

- ・子どもたちが愛着を持てる春日 ～春日愛の継承～ / 誰もが誰かとつながっている春日 ～春日流儀～

4 その他

(1) 次回開催日程について

- ・日時：令和 年 月 日 () 午後 時 分～
- ・会場： _____
- ・内容： _____

(2) その他

5 閉会

～ 地域協議会における会議の心得 5か条 ～

- その1 自分以外の人のお考えも聞きましょう（自分ばかり話さない）
- その2 発言は簡潔にしましょう（だらだら話さない）
- その3 建設的な話し合いをしましょう（頭から否定しない）
- その4 話し合いやすい雰囲気を大切にしましょう（相手を責めない）
- その5 個人の意見は平等に扱いましょう（一人の強い意見に偏らない）

A

春日地域に関する学びや謙信公の顕彰を
地域の大人から子どもへ伝承する

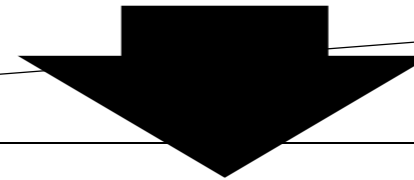
自主的な審議のフレームワーク（12月10日（水）令和7年度第8回春日区地域協議会協議結果）

テーマ① 子どもたちが愛着を持てる春日 ～春日愛の継承～

令和8年度第1回春日区地域協議会
令和8年4月8日
3議題（1）自主的な審議
資料No.1

市内の地域自治区で人口を比較した際、春日区では、現在は子どもの人数は多いが、将来的に少子化が進行していくことを見据え、子どもたちが春日地域に愛着を持ち、長くかかわることができるよう、取り組む。

プロセス	内容	協議結果
課題の設定	起きているよくない現象・将来発生する可能性がある事象などを定義する。	・人口減少と高齢化の進行
原因(問題)分析	何が原因で課題が発生しているのか明確にする。現状と理想のギャップを分析する。	・少子化、子どもの市外・県外流出
解決策の検討	考えられる解決策をできる限り挙げていき、優先順位をつける。	<p>●春日地域に関する学びや謙信公の顕彰を、地域の大人から子どもへ伝承する。</p> <p>○大切にしたいポイント（条件、方針、理念など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“変わらない何か”がある「地元」と呼べる場所であること ・達成感があること ・忘れられない思い出があること ・子どもが懐かしさを感じる ・大人がかっこいい見本になること ・子どもの頃から取り組み、身につく事 <p>○具体的解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春日村歌の普及 ・謙信公の物語などの読み聞かせ ・春日山節の普及 ・謙信公の物語などの紙芝居 ・春日地区の新しい歌の制作 ・ご当地かるたの制作 ・謙信公検定の実施
解決策の実行	優先順位が高いものから実行していく。効果検証をして、効果が出ていれば継続する。期待する効果が得られない場合は、他の解決策を取り入れる。	



（敬称略）

解決策のための協議事項	グループA	グループB		グループC
	池亀、崎田、田邊、山谷、渡部 事務局：村山	市川、瀧本、原、山田、吉田実 事務局：鈴木		上野、田中、本田、吉田(義) 事務局：渡邊
モノ・コト（なにを）	ご当地かるたの制作	春日地区の新しい歌の制作	謙信公検定の実施	春日山節の普及
時期（いつ）		令和8年度中		
場所（どこで）	春日区内	春日区内		地域内の施設や店舗、町内会行事等
実施者（誰が）	上杉おもてなし武将隊、上越観光コンベンション協会	外部委託	花ヶ前氏を中心に作成	・春日区内施設町内会、学校による協力
対象者（誰に）	春日区の住民			小学生以下の子どもから大人まで（子どもの頃から）
実施方法（どうする）	文面や絵を子どもから作成してもらい、作成する	YouTubeでの配信、生徒へ配布する	上級、中級、初級に分け、講座及び検定を実施する	・春日区内の各所で曲を流すことで自然と耳にし、覚える ・町内会の運動会等行事で流す、踊ることで、普及する
数量（どれくらい）	児童生徒、春日区全戸配布数	2曲程度		
経費（いくら）				
その他	1つ1,000円程度で販売			

B

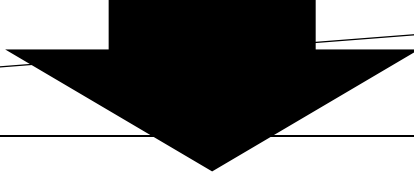
簡単なゲームを通じた世代間交流

自主的な審議のフレームワーク（2月10日（火）令和7年度第9回春日区地域協議会協議結果）

テーマ② 誰もが誰かとつながっている春日 ～春日流儀～

令和8年度第1回春日区地域協議会
令和8年4月8日
3議題（1）自主的な審議
資料No.2

現在、人口の多い春日区でも、将来の高齢化や組織の役員の確保、空き家管理の心配など様々な懸念がある中、それらを解消するための助け合いのコミュニティを維持すべく、人と人がいつまでもつながってられるよう、取り組む。

プロセス	内容	協議結果
課題の設定	起きているよくない現象・将来発生する可能性がある事象などを定義する。	①新たなコミュニティ形成が困難 ②空き家の管理状況、防犯面が不安 ③除雪、災害対応が困難
原因(問題)分析	何が原因で課題が発生しているのか明確にする。現状と理想のギャップを分析する。	①地域行事への参加しづらさ ②空き家の増 ③高齢者のみ世帯の増
解決策の検討	考えられる解決策をできる限り挙げていき、優先順位をつける。	<p>●簡単なゲームを通じた世代間交流</p> <p>○大切にしたいポイント（条件、方針、理念など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢や健康状態等に関わらず、誰もがができること ・ルールが単純で、誰もが理解できること（輪投げなど） ・お金がかからず、誰もが集まりやすい環境であること <p>○具体的解決策（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・e（easy）スポーツ ・ウォーキングポイント
解決策の実行	優先順位が高いものから実行していく。効果検証をして、効果が出ていれば継続する。期待する効果が得られない場合は、他の解決策を取り入れる。	

（敬称略）

解決策のための協議事項	グループA	グループB		グループC
	上野、太田、瀧本、原、山谷、渡部 事務局：渡邊	市川、崎田、田邊、山田、吉田(義) 事務局：鈴木		池亀、折橋、田中、本多、吉田(実) 事務局：村山
モノ・コト（なにを）	謙信公マージャン （春日版ボードゲーム、カードゲーム）	マージャン	ウォークラリー	グラウンド・ゴルフ
時期（いつ）				春～秋
場所（どこで）			総合体育館、春日区全域、春日山など	
実施者（誰が）				地域の同好会などのグループ
対象者（誰に）	子どもから大人まで		小学生から高齢者まで	全世代
実施方法（どうする）	謙信公をモチーフとしたゲームを作成し、地域内で遊ぶ。		・世代混合グループでポイントを回る。春日区に関する問題を設置し、協力して解き進める。	・用具＝個人所有+スポーツ協会（総合体育館）から借用 ・大会の開催より、皆で楽しむところから始める
数量（どれくらい）				
経費（いくら）				
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームに参加することで地域通貨を獲得できる →制服交換や子ども食堂など、適切な使い方 ・カード等アナログで作成 →子どものゲーム機離れ対策 ・大人が子供にルールを教える →世代間交流を生む ・謙信公をモチーフにする →謙信公に関心を高め、テーマ①にも共通する →地域内の健全なゲームと印象付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・賭け事風にしないと楽しくない →お菓子などを賞品にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題は地域協議会委員を中心に作成 	令和8年度地域独自の予算事業で同様の事業（木田・岩木・藤巻・藤新田）を提案している団体あり



共通の趣味などを持った人がつながるための交流

自主的な審議のフレームワーク (3月11日(水) 令和7年度第10回春日区地域協議会協議結果)

テーマ② 誰もが誰かとつながっている春日 ~春日流儀~

令和8年度第1回春日区地域協議会
令和8年4月8日
3議題 (1) 自主的な審議
資料No.3

現在、人口の多い春日区でも、将来の高齢化や組織の役員の確保、空き家管理の心配など様々な懸念がある中、それらを解消するための助け合いのコミュニティを維持すべく、人と人がいつまでもつながってられるよう、取り組む。

プロセス	内容	協議結果
課題の設定	起きているよくない現象・将来発生する可能性がある事象などを定義する。	①新たなコミュニティ形成が困難 ②空き家の管理状況、防犯面が不安 ③除雪、災害対応が困難
原因(問題)分析	何が原因で課題が発生しているのか明確にする。現状と理想のギャップを分析する。	①地域行事への参加しづらさ ②空き家の増 ③高齢者のみ世帯の増
解決策の検討	考えられる解決策をできる限り挙げていき、優先順位をつける。	<p>●共通の趣味などを持った人がつながるための交流</p> <p>○大切にしたいポイント (条件、方針、理念など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模な事業から少しずつ規模を広げていく ・多世代のほか、男性も女性も参加しやすいこと ・誰でも参加できるように説明会や練習会を行うなど配慮する ・参加者に偏りが生じないように配慮する <p>○楽しむことを目的とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの顔が見え、気軽に参加できる ・長く継続できるように、参加費が高額にならないよう配慮する <p>○具体的解決策 (案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽市楽座 (フリーマーケット) ・郷土料理会 ・趣味等の作品展
解決策の実行	優先順位が高いものから実行していく。効果検証をして、効果が出ていけば継続する。期待する効果が得られない場合は、他の解決策を取り入れる。	



(敬称略)

解決策のための協議事項	グループ A	グループ B		グループ C
	本多、山田、山谷、吉田(義)、渡部 事務局：渡邊	崎田、瀧本、田中、原、松澤 事務局：村山		池亀、市川、上野、折橋 事務局：鈴木
モノ・コト (なにを)	(大切にしたいポイント (方針、理念など) を整理)	郷土料理会 (例：山形県 芋煮会)	サークルや趣味の団体の 一覧の作成、配布	作品展
時期 (いつ)				
場所 (どこで)				・学校 ・春日謙信交流館
実施者 (誰が)		・町内会 (毎)		
対象者 (誰に)				
実施方法 (どうする)				
数量 (どれくらい)		・町内会毎に味付けを変える		
経費 (いくら)				
その他	<p>○ポイント (方針、理念など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模な事業から少しずつ規模を広げていく ・多世代のほか、男性も女性も参加しやすいこと ・誰でも参加できるように説明会や練習会を行うなど配慮する ・楽しむことを目的とする ・長く継続できるように、参加費が高額にならないよう配慮する ・互いの顔が見え、気軽に参加できる 	・「謙信公鍋」など、春日にちなんだ愛称を用いる	・地域にいる同じ趣味などの人と知り合う	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動は参加できる年代に偏りが生じる →作品展の方が幅広く参加可能 ○実施の工夫 ・交流や長時間の滞在を生む仕掛け →展示とは別スペースで制作の体験会等を実施 →喫茶コーナーを設ける ・出展者、参加者の偏り →町内会毎に作品を展示し、スタンプラリーを実施

2 位置図

令和8年度第1回春日区地域協議会
令和8年4月8日
4その他(2)その他
参考
資産活用課

- ・ 「20 木田児童遊園」
- ・ 「21 薄袋児童遊園」

配布した公の施設白書に記載が無かった上記2つの施設を位置図に記載しました。

詳細は、次ページ以降となりますのでご参照ください。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイトル)を複製したものである。(承認番号 平30情複、第10号)

- 位置図



- 現況写真①（西側住宅街・北側遊歩道の西側）

A



B



- 現況写真②（北側遊歩道・北側遊歩道の東側）

C



D



21 薄袋児童遊園

- 位置図



- 現況写真③（南側）

E

